



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日
上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社
 コード番号 9110 URL http://www.nsuship.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷水 一雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 小林 勝利 TEL 03-6895-6407
 四半期報告書提出予定日 2021年2月9日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	101,608	△7.6	4,332	△25.6	2,946	△37.6	5,513	△4.8
2020年3月期第3四半期	109,978	△5.0	5,825	△19.4	4,724	△26.3	5,791	△17.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,192百万円 (10.0%) 2020年3月期第3四半期 4,720百万円 (△46.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	233.94	-
2020年3月期第3四半期	245.75	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	263,286	94,770	36.0
2020年3月期	248,522	91,110	36.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 94,770百万円 2020年3月期 91,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	45.00	-	35.00	80.00
2021年3月期	-	30.00	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	-	-	25.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	△9.0	5,500	△21.9	3,600	△34.3	4,200	△29.4	178.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	23,970,679株	2020年3月期	23,970,679株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	404,046株	2020年3月期	403,989株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	23,566,661株	2020年3月期3Q	23,566,838株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、本日付で「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2021年1月29日（金）に当社ウェブサイトに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日までの9ヶ月間）の外航海運事業において、ドライバルクにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大（以下、「感染症拡大」という。）の影響等を5月に大きく受けましたが、その後徐々に荷動きが回復し、2020年末の平均用船料率は全ての船型に於いて前年末を上回る水準となりました。ケープサイズ型撒積船（18万重量トン型）市況は、平均用船料率が第1四半期には一時日額2千ドルを割るほどに低迷しましたが、その後は底堅い鉄鉱石の輸送需要に支えられる中、10月初旬にはブラジル積み等の輸送トンマイルの長い輸送需要が市況を大きく押し上げ、日額3万4千ドルを突破しました。その後は急激な上昇からの調整により弱含みましたが12月中旬には反転し、日額約1万6千5百ドルと前年末を上回る水準で当第3四半期を終えました。また、パナマックス型以下の中小型撒積船（2～8万重量トン型）は、感染症拡大の影響等から第1四半期には輸送需要の減退が見られましたが、その後は好調な中国向け大豆輸送や北米・南米からの穀物輸送需要に加え、インドネシアを中心とした東南アジア水域の輸送需要が市況を下支えし、2020年末の平均用船料率は船型により日額約1万1千ドルから約1万2千ドルの水準となりました。VLGC（大型LPG運搬船）市況は、感染症拡大による景気の減退や原油減産等の影響により一時荷動きが減少しましたが、7月以降需要が回復、その後も北米からアジア水域への輸送需要拡大等から高い水準で推移しました。このような状況下、戦略的に整備を続けてきた自社船隊を活用し、市況回復時の収益改善に努めましたが、主に第1四半期の感染症拡大における市況低迷時の収益性低下を補うには至らず、前年同期比で減収減益となりました。

内航海運事業において、ドライバルクにつきましては、鉄鋼関連貨物は、第2四半期以降、自動車を中心とした製造業が回復基調となり粗鋼生産も上向き始めたものの、第1四半期を中心とした感染症拡大の影響による落ち込みを補いきれず、原料、鋼材の輸送量は共に前年同期比で大きく下回りました。電力関連貨物は再生可能エネルギー活用や石炭火力発電稼働抑制、及び感染症拡大による景気停滞の影響を受け電力需要が減少しましたが、バイオマス燃料輸送を含めた新規輸送により、前年同期を若干上回る輸送量となりました。また、セメント関連貨物は感染症拡大の影響や建設需要減少等により、輸送量は前年同期を若干下回りました。タンカーにつきましては、LNG輸送は、省エネ化の進展、感染症拡大により需要が減少するなか効率運航に努めましたが、輸送量は前年同期を下回りました。LPG輸送は、民生用は冬季需要期を迎え輸送量は好転しましたが、工業用と化学原料用は、需要減退により輸送量は減少し、全体として輸送量は前年同期を下回りました。このような状況下、内航海運事業の貨物輸送量は減少しましたが、効率配船や諸経費削減の結果、業績は前年同期比で減収増益となりました。

燃料油の平均消費価格につきましては、当第3四半期連結累計期間の高硫黄C重油がトン当たり約260ドルとなり前年同期比では約172ドル安、適合燃料油がトン当たり約355ドルとなり前年同期比では約223ドル安となりました。また、対米ドル円相場は期中平均で106円78銭と、前年同期比では2円44銭の円高となりました。

このような事業環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は1,016億8百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益は43億32百万円（前年同期は58億25百万円の営業利益）、経常利益は29億46百万円（前年同期は47億24百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は55億13百万円（前年同期は57億91百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は8割強、内航海運事業の割合は2割弱となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,632億86百万円となり、前連結会計年度末比147億64百万円の増加となりました。このうち流動資産は主として現金及び預金の増加により31億9百万円増加しました。固定資産は主として船舶の増加により116億55百万円増加しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、111億4百万円増加の1,685億16百万円となりました。このうち流動負債は主として短期借入金の減少により94億5百万円減少しました。固定負債は主として長期借入金の増加により205億8百万円増加しました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払の差引による利益剰余金の増加、繰延ヘッジ損益の減少によるその他の包括利益累計額の減少等により、前連結会計年度末に比べ36億60百万円増加し947億70百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期			
	前回予想	今回予想	前回予想比	
			増減額	増減率
売上高	133,000	135,000	2,000	1.5%
営業利益	3,700	5,500	1,800	48.6%
経常利益	2,200	3,600	1,400	63.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,200	4,200	0	0.0%

※前回予想（2020年10月30日）及び今回予想における第4四半期平均の対米ドル円換算率及び燃料油価格の前提は以下の通りです。

第4四半期前提	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=105円	US\$=103円
燃料油価格（高硫黄C重油）	US\$285/MT	US\$375/MT
燃料油価格（適合燃料油）	US\$385/MT	US\$465/MT

第3四半期連結累計期間の業績、および第4四半期以降の当社を取り巻く事業環境を踏まえ、2020年10月30日付で公表した前回予想値を上記の通り修正いたします。第4四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率を103円、燃料油価格は高硫黄C重油をトン当たり375ドル、適合燃料油価格をトン当たり465ドルと予想しています。

なお、当社は株主への利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、年間配当性向を「連結業績ベースの概ね30%」とする方針を採っております。2021年3月期の期末配当につきましては、1株当たり25円00銭、通期で55円00銭と予想しております。

本日、「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を別途開示しておりますので併せてご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,803	24,319
受取手形及び営業未収金	18,650	17,381
たな卸資産	5,876	5,563
前払費用	3,027	3,180
デリバティブ債権	1,379	74
その他流動資産	1,773	3,099
貸倒引当金	△24	△22
流動資産合計	50,484	53,593
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	176,472	192,319
建物(純額)	422	413
土地	703	703
建設仮勘定	9,636	6,025
その他有形固定資産(純額)	61	136
有形固定資産合計	187,295	199,595
無形固定資産		
投資その他の資産	2,546	2,296
投資有価証券	2,599	2,905
長期貸付金	28	27
繰延税金資産	3,537	2,790
退職給付に係る資産	1,480	1,545
その他長期資産	552	535
投資その他の資産合計	8,197	7,802
固定資産合計	198,038	209,693
資産合計	248,522	263,286

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	6,097	6,003
短期借入金	37,733	28,615
リース債務	351	349
未払金	737	209
未払費用	227	288
未払法人税等	284	621
前受金	1,201	1,152
賞与引当金	425	99
役員賞与引当金	52	17
デリバティブ債務	3,115	2,807
その他流動負債	2,408	3,064
流動負債合計	52,630	43,225
固定負債		
長期借入金	94,681	115,401
リース債務	4,729	4,467
繰延税金負債	1,600	1,409
特別修繕引当金	3,609	3,871
退職給付に係る負債	161	142
その他固定負債	2	2
固定負債合計	104,783	125,291
負債合計	157,412	168,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	17,181	17,181
利益剰余金	65,748	69,729
自己株式	△995	△995
株主資本合計	92,235	96,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	399
繰延ヘッジ損益	△1,239	△1,902
為替換算調整勘定	△55	△65
退職給付に係る調整累計額	169	122
その他の包括利益累計額合計	△1,125	△1,446
純資産合計	91,110	94,770
負債純資産合計	248,522	263,286

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	109,978	101,608
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	99,852	93,087
売上総利益	10,126	8,520
一般管理費	4,301	4,188
営業利益	5,825	4,332
営業外収益		
受取利息	60	17
受取配当金	130	51
持分法による投資利益	32	18
デリバティブ利益	71	96
受取補償金	—	285
その他営業外収益	41	42
営業外収益合計	334	509
営業外費用		
支払利息	1,088	1,078
為替差損	136	496
その他営業外費用	211	321
営業外費用合計	1,435	1,895
経常利益	4,724	2,946
特別利益		
固定資産売却益	2,791	4,233
投資有価証券売却益	7	—
特別利益合計	2,799	4,233
特別損失		
投資有価証券売却損	—	8
用船解約金	50	—
為替換算調整勘定取崩額	79	—
特別損失合計	129	8
税金等調整前四半期純利益	7,394	7,171
法人税等	1,602	1,658
四半期純利益	5,791	5,513
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,791	5,513

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,791	5,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△278	399
繰延ヘッジ損益	△796	△663
為替換算調整勘定	74	11
退職給付に係る調整額	△50	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	△21
その他の包括利益合計	△1,072	△321
四半期包括利益	4,720	5,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,720	5,192

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	91,919	18,059	109,978	—	109,978	—	109,978
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7	7	276	283	△283	—
計	91,919	18,066	109,985	276	110,261	△283	109,978
セグメント利益 又は損失(△)	5,029	795	5,824	△1	5,824	1	5,825

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	85,486	16,121	101,608	—	101,608	—	101,608
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	3	3	283	286	△286	—
計	85,486	16,125	101,611	283	101,894	△286	101,608
セグメント利益	3,049	1,265	4,314	17	4,330	2	4,332

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。